

報道資料

特別展

陸前高田の たからもの

2016/2/27(土)～3/27(日)

主催■名古屋市博物館
津波により被災した文化財の保存修復技術
の構築と専門機関の連携に関するプロジェ
クト実行委員会

名古屋市博物館

同時開催(部門展示室)
「東日本大震災からの復興と名古屋」

岩手県の沿岸南部に位置する陸前高田市 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって、東日本各地で大きな被害が発生しました。まち全体が津波に飲み込まれ、歴史や文化の記憶を伝える文化財にも大きな被害が及んでいます。

被災した資料は、全国各地の博物館関係者のみならず、地域の住民の方々の協力により救出され、修復が行われています。そして、その修復された文化財は、地域の歴史や文化を未来へとつないでいく存在として、復興を進める町の精神的なよりどころとなることに、期待が寄せられています。

本展覧会は陸前高田市立博物館で被災し、その後修復された資料を中心に、文化財再生の取り組みの実状と成果、文化財の修復を通じてまちの記憶をつないでいくことの意義を紹介します。

名古屋市では、震災直後から陸前高田市への「行政丸ごと支援」を実施しており、2012 年には、子供たちの交流を深めるための「絆協定」を結びました。さらに 2014 年には、友好都市の協定を結び、協力関係を深めています。

本展覧会が、修復された文化財の可能性に触れていただく機会となるとともに、陸前高田市への理解を深め、被災地に心を寄せていただく機会ともなることを願っております。



陸前高田市立博物館が暫定移転している
旧生出小学校



陸前高田市立博物館で行われている
修復活動

展覧会の特徴

陸前高田のたからもの

・文化財は「たからもの」

個々の資料にまつわるエピソードとともに、文化財再生の実情と成果、及び文化財保全の意義を紹介します。文化財が人の想いによって、「たからもの」になっていくことへの理解を深めてもらえる展覧会です。

・文化財レスキューと文化財の修復の成果

震災直後から始まった大規模な文化財レスキュー活動によって、陸前高田市では、46 万点もの文化財が救出されました。特に国内外で初めての試みとなる、海水に浸かった文化財に対する修復活動を具体的に紹介します。

・「たからもの」が伝える陸前高田

名古屋市が「行政まるごと支援」を実施している陸前高田市がもつまちの魅力を、救出・修復を経て復活した文化財が伝えます。陸前高田市や被災地への関心を持ってもらえる機会となります。

東日本大震災からの復興と名古屋 部門展示室にて同時開催

名古屋市が震災直後から陸前高田市で行っている復興支援や、子どもたちとの交流をはじめ、その他被災地で取り組んでいる活動についても紹介します。

「陸前高田のたからもの」 展覧会の構成

プロローグ 2011.3.11

2011年3月11日、東日本大震災発生。陸前高田市にも地震と大津波が襲いかかり、人やまち、そして文化財にも甚大な被害が及びました。震災の大きさを物語る資料とともに、文化財の被災状況を紹介します。



地震で止まった時計
陸前高田市立博物館蔵



津波で止まった時計
陸前高田市立博物館蔵

I よみがえるふるさと

陸前高田市内で被災した資料は、博物館にかかわる多くの人たちの尽力により、よみがえりつつあります。

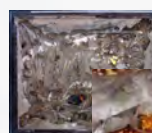
修復された資料が、再び陸前高田のまちの記憶を語り始めています。



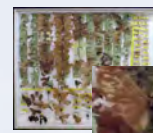
吉田啓一 冬の松原
陸前高田市立博物館蔵

II「たからもの」を救え！ - 文化財レスキューと安定化处理 -

被災した文化財の多くは、大きな損傷を受けているため、急速な劣化を食い止める「安定化处理」が施されます。特に国内外でも前例のない、海水に浸かった資料の修復技術を、資料とともに具体的に紹介します。



津波で被災



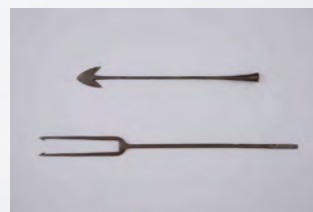
昆虫標本
陸前高田市立博物館蔵



修復済

III「たからもの」がたえる陸前高田

救出・修復が行われた資料が伝える陸前高田というまちの記憶や魅力を、自然・歴史・産業・民俗の4つの視点から紹介します。陸前高田を代表する産業、漁業を支えた漁撈具は、国の登録有形民俗文化財に指定されています。



モリ(上)／ヤス(下)
(国登録有形民俗文化財の漁撈具)
陸前高田市立博物館蔵



吉田家文書 定留
文化10年(1813) 個人蔵

エピローグ「たからもの」がつなぐ想い - 文化財の残らない復興は本当の復興ではない -

陸前高田市民によって収集され、現在に至るまで愛されている資料にまつわるエピソードを紹介します。市民の想いによって守られ、救われ、文化財は今まで以上に大切な「たからもの」となっています。



リードオルガン
陸前高田市立博物館蔵



青い目の人形
陸前高田市立気仙小学校蔵



アカショウビン
陸前高田市立博物館蔵

部門展示室にて同時開催 東日本大震災からの復興と名古屋

特別展「陸前高田のたからもの」の開催に合わせ、名古屋市が、陸前高田市をはじめとする被災地で行っている復興への協力などの取り組みを紹介します。**部門展示室のみの入場は無料です。**

「行政まるごと支援」

名古屋市では、東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市の行政全般を、丸ごと支援する取り組みを行っています。これまでの活動の記録とともに、派遣された職員の奮闘ぶりを紹介します。

きずな 「絆協定」

名古屋市教育委員会では、東日本大震災以降、陸前高田市と名古屋市の中学生どうしの交流を進めてきました。そして、このつながりを今後につなげていくため、平成24年5月、「絆協定」を締結しました。中学生の交流のあゆみを紹介します。

「なごや子ども市会」

「なごや子ども市会」が行っている、市内小学校5・6年生からなる子ども議員と、陸前高田市の子どもたちとの交流を紹介します。

「宮古市との文化財交流」

名古屋市教育委員会は、岩手県宮古市での、東日本大震災からの復興に伴う埋蔵文化財発掘調査に対して職員を派遣し、調査体制の充実に協力しています。派遣された職員の活動とともに、これを契機に始まった宮古市との文化財交流を紹介します。

「名古屋市の防災の取り組み」

東日本大震災からの復興に対する支援・協力は、名古屋市の防災の取り組みについて考え、対策について学ぶ機会でもあります。名古屋市の防災への取り組みを紹介します。



陸前高田市内での復興支援事業



絆協定での交流の様子

関連事業

講演会「文化財の再生にかける思い」

3月12日(土) 午後2時～ 講堂
講師 東京国立博物館特任研究員 神庭信幸氏(保存科学)
*参加無料。12:30整理券配布。当日先着順(定員220名)

被災資料安定化処理ワークショップ

3月18日(金) 展示説明室
午前10時～
講演 「被災博物館資料の救出と安定化処理」
講師 岩手県立博物館首席専門学芸員 赤沼英男氏
午後2時～
ワークショップ
海水損した紙資料及び民俗資料に対する安定化処理

*ワークショップの内容は主に専門家を対象としたものですが、一般の方も参加できます。参加ご希望の方は事前にお問い合わせください。

被災地の今を伝える報告会

3月6日(日) 午後2時～ 講堂
東日本大震災の復興協力のために派遣された本市職員、陸前高田との交流を行っている学生などの報告により、被災地の今の姿を紹介します。
*参加無料。12:30整理券配布。当日先着順(定員220名)



岩手県宮古市での発掘調査支援

ギャラリートーク「たからものが語る陸前高田」

2月27日(土)、3月19日(土)、3月27日(日) 午後2時～
学芸員が特別展示室内にて、資料にまつわるエピソード等交えて、展覧会をご案内します。
*観覧料をお求めの上で参加ください。

展覧会情報

観覧料■一般300(400)円、高大生200(300)円、中学生以下無料、市内在住の65歳以上の方100(200)円
(敬老手帳の提示が必要です。他の割引との併用はできません。)

- * () 内は常設展との共通料金
- * 名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用してのご来場の方は50円割引
- * 身体等に障害のある方は、手帳の提示により本人と介護者2人まで当日観覧無料
- * 各種割引を重複してご利用いただくことはできません。
- * 30名以上の団体は割引があります。お問い合わせください。

会期■2016年2月27日(土)～3月27日(日) (開室数26日)
休館日■2/29(月)・3/7(月)・3/14(月)・3/22(火)。*3/21(月・祝)は開館

主催■名古屋市博物館
津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会



本展覧会は、平成27年度文化芸術振興費補助金(地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)の助成を受けて実施する事業です。

お問い合わせ先

名古屋市博物館

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1(〒467-0806)
電話■(052)853-2655 / ファックス■(052)853-8400
公式ウェブサイト■<http://www.museum.city.nagoya.jp/>

広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

名古屋市博物館 特別展

「陸前高田のたからもの」

平成28年(2016) 2月27日(土)～3月27日(日)

- ・ 広報用画像の使用は、特別展「陸前高田のたからもの」を紹介する場合に限り、展覧会終了後のご使用、または二次利用はできません。
- ・ 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。
- ・ 広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。
- ・ 掲載記事に付きましては、基本情報の確認のため、校正刷り、原稿段階で下記のお問い合わせ先までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名	媒体名
ご住所 〒	
ご担当者名	所属部署
E-mail	FAX

ご掲載・放映の予定日がお決まりでしたらお知らせください。

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。

希望する 組 名分
希望しない

*原則として掲載紙・誌が館に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望される画像の□に✓してください。

*資料名などの写真キャプションは記載のとおり表記してください(改行は適宜行って構いません)。

1



リードオルガン
陸前高田市立博物館蔵

2



津波で止まった時計
陸前高田市立博物館蔵

3



青い目の人形
陸前高田市立気仙小学校蔵

4



アカショウビン
陸前高田市立博物館蔵

5



奇跡の一本松
陸前高田市内

名古屋市博物館
学芸課

名古屋市瑞穂区瑞穂通一丁目27-1

Tel.(052)853-2655 / FAX (052)853-8400 / e-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp